



広島市東区の中核病院として、  
本格的ながん治療の拠点として、地域へ貢献！

## 医療法人JR広島病院



1920年の創立以来、およそ1世紀におよぶ歴史を紡いできた「広島鉄道病院」。  
2016年からは「医療法人JR広島病院」として生まれ変わり、新たなスタートを切った。  
今日は、新築したばかりの病棟で研修がはじまった研修医に、その様子を聞いてみた。

研修医 1年目  
**飯島 綾** 先生  
兵庫県出身  
広島大学医学部卒業



研修医 1年目  
**後藤 玲美** 先生  
愛知県出身  
広島大学医学部卒業



教育研修部長  
**中山 宏文** 先生  
広島県出身  
広島大学医学部卒業



夢を描き、叶えられる！  
そんな初期研修医時代を送ろう

中山：研修がはじまって数か月ですが、2人とも研修は充実していますか？

飯島：大満足の研修内容で、とても充実しています。東区の基幹病院という立ち位置ですから、私たち研修医も地域の診療所の先生とつながりを意識し、地域医療を感じています。「CTがないから」や「専門医にも診てほしい」など様々なご要望でご紹介いただくので、地域の先生を支援する病院ののだと実感できました。

後藤：当直で患者さんを診ていると「とにかく心配で」、「夜中でどうしていいかわからなくて」という方も多く、かかりつけとしての役割で地域の方々とつながっているのだと感じます。余談ですが、大学の同期から新病棟で羨ましいと言われます。

中山：そうだね、地域の先生と住民の両方に、貢献しなければなりません。新病棟では新たに透視センターや健診センターを設置するなど、診療基盤も広がりました。内視鏡室の充実や放射線科の画像診断機器がより高性能になりました。さらに、温熱療法室の新設、化学療法センターの拡充、そして緩和ケア病棟の稼働等治療を含むがん診療が充実してきました。そして地域との連携も今まで以上に推進しています。

後藤：隣接している広島がん高精度放射線治療センター（以下、センター）の先生にもご参加いただき、キャンサーボードでは、内視鏡画像やCTを見ながら、各専門家の知識・知恵・経験が集結されていて、

がん治療の最前線のだと実感します。

飯島：この手術はこちらで、この症例はセンターで治療を、などシビアな選択を迫られるディスカッションに私たちも同席できて勉強になっています。

中山：センターに在籍するがんの放射線治療専門医と顔を合わせ、より近い関係で連携できるようになったことは患者さんにとっても、私たち医師にとってもすばらしい進歩ですね。

後藤：こうした最先端の治療法もじっくり学びたいです。2次救急までを担当し、多忙を極めることはさほどない当院は、コツコツ勉強したい研修医に最適な環境だと感じています。

飯島：指導医の先生方がおっしゃっている「一症例一症例、患者さん一人ひとりを大切に」をなるべく実践したいので、勉強する時間を与えてくださる環境があります。

中山：とことん勉強して、一人ひとりの患者さんに関してわからないことをなくせるぐらいにまで向き合ってくださいね。

飯島：それくらい、症例も独り占めできる環境が嬉しいですね。

後藤：研修医が2人だけという少人数



の良さですよ。2年目の自由選択期間も、いろいろな科を回りながらギリギリまで考えさせてもらえます。

中山：初期研修プログラムは、将来有望な研修医の皆さんの夢を叶えるためのものでなければいけないから。その基盤にしてほしいし、自由に希望を言ってほしい。そうだ、皆さんの夢や目指す医師像は？

後藤：それが、学生の頃は研究に興味があったのですが、何を聞いても答えにくく、ジェネラリストの先生と当院で出会い、臨床の現場に興味がある。飯島：実は、私もです。もともとは病理一筋で医師人生をと思っていたのですが、患者さんと接するうち、臨床の現場にもやりがいを感じていて。

中山：2人とも、夢を描き始めたところだね。

飯島：自分が考えていたことばかりでなく、様々な経験を通して、目指す医師像を見つけたんです。

後藤：病院全体で暖かく見守ってくださることに感謝し、ベテランの先生方やコメディカルの皆さんとの出会いから学び、将来を考えていきたいです。

中山：のびのびの夢を描き、叶えられるようにこれからもプログラムを考えていきたいね。学生さんにもぜひ一度見学に来てほしい。

後藤：ピカピカの新病棟や、のびのびした研修風景を一度見てほしいです。

飯島：きつとスタッフの皆さんのアットホームな雰囲気を感じていただけると嬉しいです。

全員：ぜひ、見学にお越しください！

## 広島がん高精度放射線治療センターとは

2015年、より高精度な放射線治療を提供できる医療体制を整えるため「広島がん高精度放射線治療センター・HIPRAC（ハイブラック）」が開設された。広島駅から徒歩5分の立地にあり、公共交通機関での通院がしやすく、ライフスタイルを大きく変えない通院での治療ができる。がん対策日本一を目指す広島の、がん放射線治療の新拠点として期待されている。また、がん治療専門だからこその気遣いやプライベートな空間が利用者から好評を得ている。

広島がん高精度放射線治療センターで行う高精度放射線治療で意義の高い疾患例

前立腺がん、頭頸部がん、肺がん、乳がん、原発性脳腫瘍、転移性脳腫瘍、肝臓がん、すい臓がん、その他



最新の動体追尾放射線治療が可能な[Vero-4DRt]

**HIPRAC** [ハイブラック]  
広島がん高精度放射線治療センター

〒732-0057 広島県広島市東区二葉の里三丁目2番2号  
TEL: 082-263-1330  
<http://www.hiprac.com>



医療法人  
**JR 広島病院**

〒732-0057  
広島県広島市東区二葉の里3丁目1-36  
TEL: 082-262-1170 FAX: 082-262-1499  
E-mail: jrhhp@orange.ocn.ne.jp

Hospital Director:  
小野 栄治

■病床数: 275床  
■指導医: 11名  
■初期研修医: 2名



<http://www.jrhh.sakura.ne.jp>

